

2021年11月29日  
東京電力ホールディングス（株）

## 福島第二原子力発電所3号機 第1回定期事業者検査の延長について

福島第二原子力発電所3号機にて実施中の第1回定期事業者検査にて、検査項目「プラスチック固化装置運転状態確認検査」の一部設備に不具合が発生し、開始報告時の予定期間内に当該検査項目が終了しないため、検査工程の見直しを行う。

上記不具合については修復を行い、2022年1月に検査を終了できる見込み。

### 1. 事象発生概要

プラスチック固化設備定期点検後の復旧作業中に3件の設備不具合が確認された。以下に各不具合の概要を示す。

#### ① 乾燥機三方弁シートパス

2021年9月上旬に実施した乾燥機三方弁本格点検後の漏えい確認時、弁組込時のリミット位置ズレによる弁シートからの洗浄水の漏えいが確認された。その後、弁リミット位置調整を実施し、11月9日に復旧済。

#### ② 苛性ソーダタンクLT計装配管詰まり

2021年8月下旬に実施した苛性ソーダタンク内部清掃点検後の復旧時、薬液析出によるLT計装配管の詰まりが確認された。詰まり部分の配管を切断し析出物の除去対応を実施し、11月9日に復旧済。

#### ③ 粉体ホopp供給装置メカシール内パージ用N2ライン詰まり

2021年8月下旬に実施したプラスチック固化設備の系統復旧時、粉体の詰まりにより粉体ホopp供給装置Aメカシールに供給しているパージ用N2ガスの流量が出ないことが確認された。メカシール1式の交換を実施し、11月18日に復旧済。

いずれの不具合も事象確認から対応完了まで数ヶ月要しているが、事象確認、応急処置対応および対応方針の検討に期間を要したものである。

また、上記③の不具合対応完了後、新たに以下の設備不具合が発生した。

#### ④ 粉体ホopp供給装置動作停止

11月19日に粉体ホopp供給装置を温水洗浄していた際、「トルク異常」警報が発生し当該装置が停止した。原因については調査中。

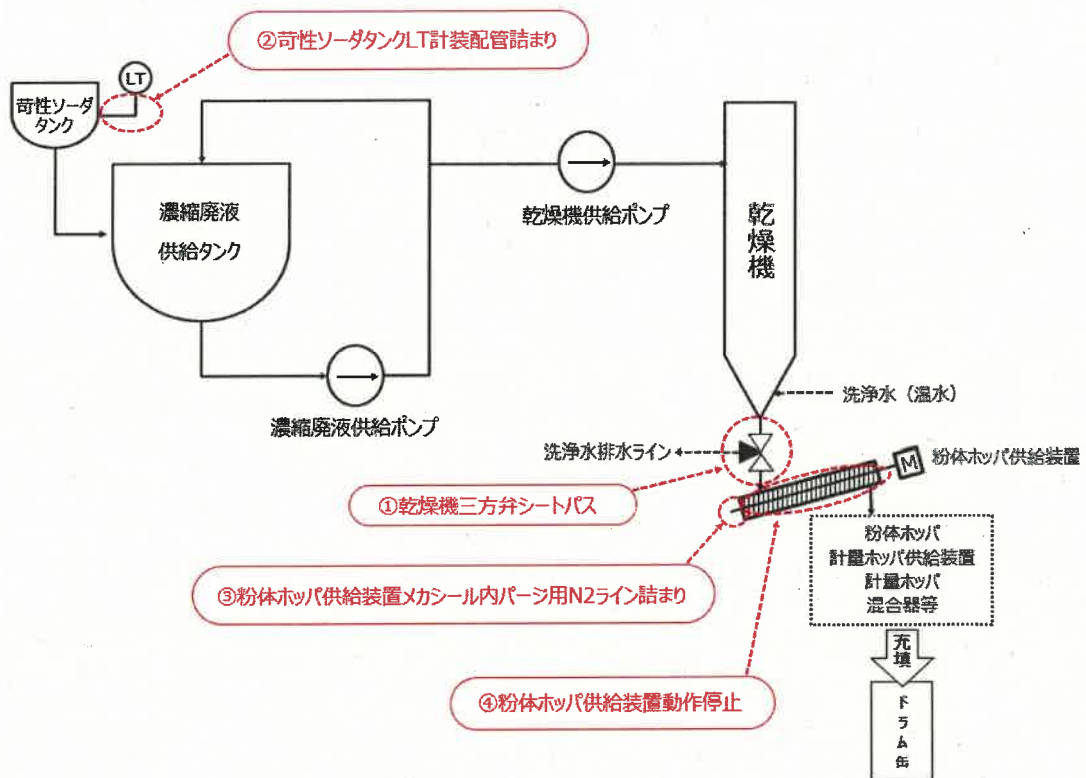


図1. プラスチック固化設備系統概略図

2. 本不具合による定期事業者検査への影響について

プラスチック固化装置運転状態確認検査では、ドラム缶充填工程を確認することとしている。1. 事象発生概要で記載した各不具合対応後、当該設備を起動し、ドラム缶充填の前工程として廃液の分析、乾燥および粉体作成工程を2～3回実施しドラム缶1本分の粉体を作成する必要がある、これに1ヶ月～1.5ヶ月程期間を要することから、定期事業者検査の予定期間内に当該検査を実施することができない。

3. 工程変更計画について

項目	年月	2021年							2022年
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
当初計画		6/1					11/26		
		[Progress bar from 6/1 to 11/26]							
変更計画		6/1							1月下旬
		[Progress bar from 6/1 to 1月下旬]							

以上